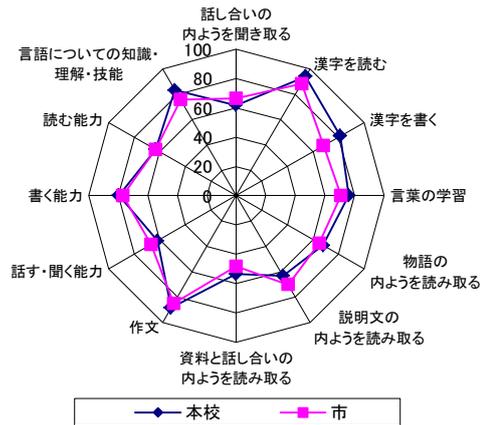


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	61.9	66.6
	漢字を読む	94.0	88.4
	漢字を書く	81.5	68.2
	言葉の学習	76.2	71.0
	物語の内ようを読み取る	67.9	64.9
	説明文の内ようを読み取る	63.5	70.1
	資料と話し合いの内ようを読み取る	53.6	48.3
	作文	88.7	84.9
観点別	話す・聞く能力	61.9	66.6
	書く能力	79.8	77.1
	読む能力	63.2	63.0
	言語についての知識・理解・技能	83.2	75.8



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・校内平均正答率は61.9%であり、市の平均正答率を約5%下回っている。	・これからも1分間スピーチなどの機会を設け、発表の仕方・聞き方などの定着を図っていく。
漢字	・校内平均正答率は、読み書きともに市の平均正答率を上回っている。8つの項目すべてが市の平均正答率を上回っている。	・これからも継続的に漢字練習の課題を出し、漢字の定着を図っていく。
言葉の学習	・校内平均正答率は76.2%であり、市の平均正答率を上回っている。同音異字の使い分けができるの項目だけが市の平均正答率を下回っている。	・苦手としている同音異字の使い分けを徹底していく。漢字練習とともにあらゆる問題を提示していくことで同音異字に慣れていく。
物語の内ようを読み取る	校内平均正答率は67.9%であり、市の平均正答率を3%上回っている。しかし、登場人物の気持ちを読み取ることができる、場面の情景を読み取ることができるの項目では市の平均正答率を下回っている。	・今後も登場人物の気持ちを正しく読み取ったり場面の情景を正しく読み取ったりできるような学習の展開を図っていく。また、朝の読書の時間や授業の場面でも可能な限り読書の時間を設け、様々な本に親しむことができるようにしていく。
説明文の内ようを読み取る	・校内の平均正答率は63.5%で、市の平均正答率を約6.5%大きく下回っている。文章の読み取りが不足している結果になった。	・文章の段落ごとに小見出しを付け、それぞれの段落で筆者が最も言いたいこと(要旨)を確認していく習慣をつけていく。また、段落相互の関係に着目しながら読んでいくよう引き続き支援していく。
資料と話し合いの内ようを読み取る	・校内の平均正答率は63.5%で、市の平均正答率を約6.5%大きく下回っている。文章の読み取りが不足している結果になった。	・資料から読み取れること、また、資料と文章の関係性について十分に考える時間をとり資料と文章のつながりを感じさせる学習の定着を図っていく。
作文	・校内の平均正答率は61.9%で、市の平均正答率を下回っている。特に2段階構成で書くことが難しかったようだ。	・学校行事ごとに自分が感じたことや気付いたことを作文にしていく活動を充実させる。作文の構成を明確にしながら書かせる工夫をしていく。